

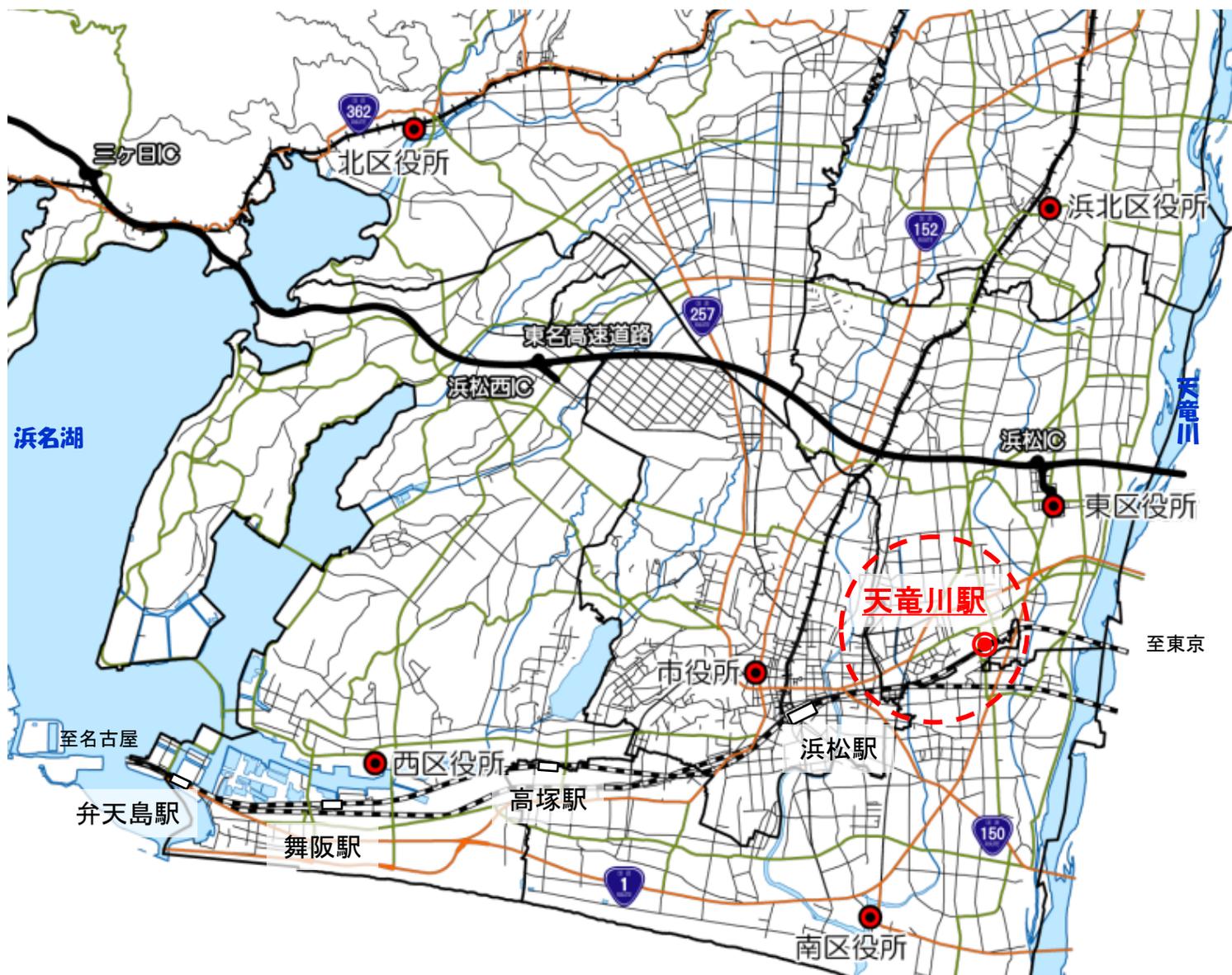
事業概要

(浜松市：天竜川駅橋上化事業)

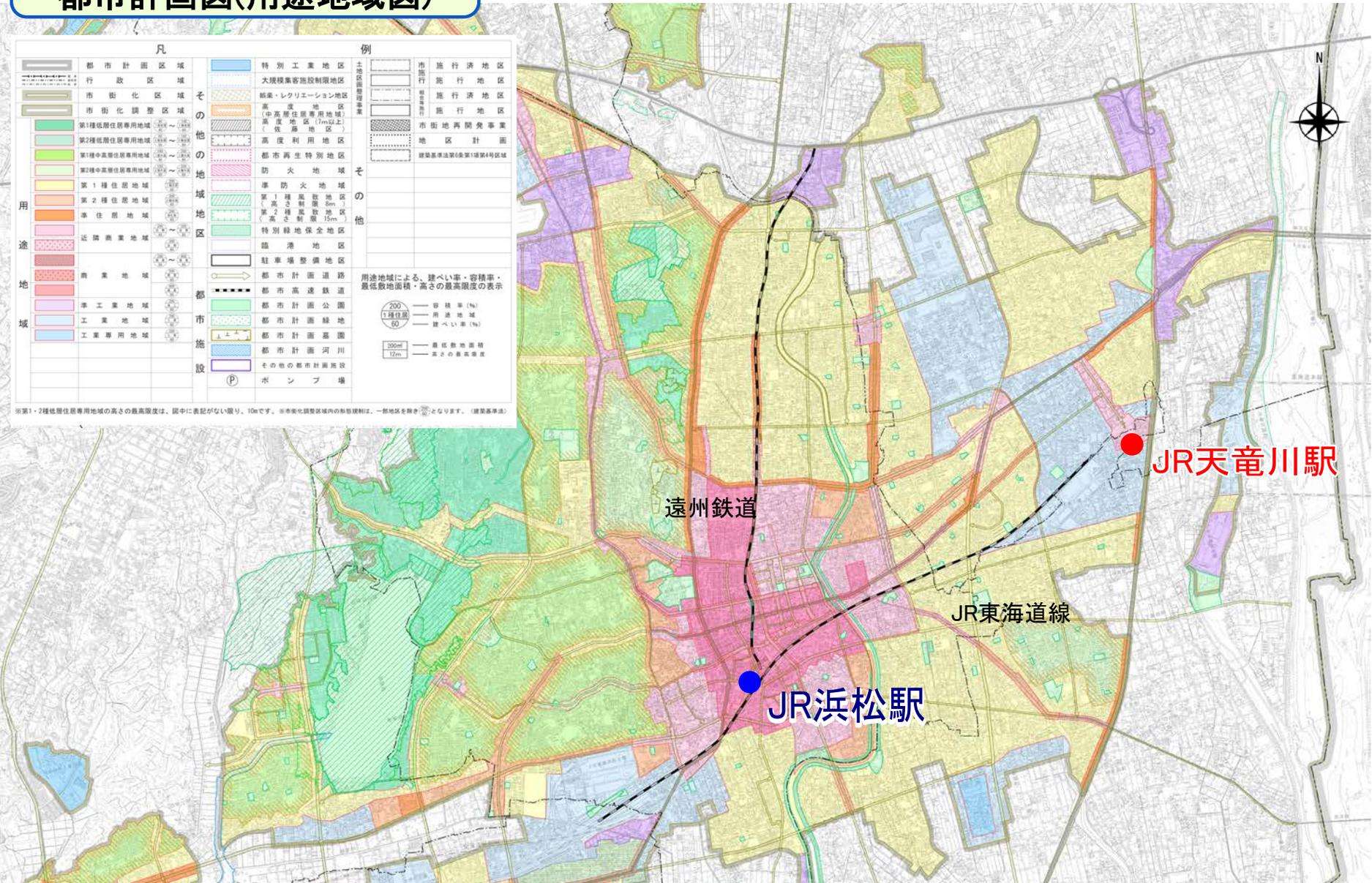
応募No.	7		
事業主体	浜松市	事業箇所	静岡県浜松市東区天龍川町地先
応募者名	浜松市土木部道路企画課		
ふりがな 事業名称	てんりゅうがわえききょうじょうかじぎょう 天竜川駅橋上化事業		
事業概要 (400字以内)	<p>本事業は、JR浜松駅から東方向約4kmに位置する天竜川駅において、駅の橋上化事業等を実施したものである。当駅は、1日あたりの乗降客数5,000人を超える市内でも乗降客数の多い駅であり、「高齢者・障がい者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」に基づき、駅のバリアフリー化が必要な駅であった。</p> <p>また、当地区は、鉄道により南北に分断されており、駅利用は地上駅舎のある北口に限定されていたことから、駅利用の利便性・安全性の向上が求められていた。</p> <p>そこで、駅の橋上化事業及びバリアフリー化事業に合わせ、南北自由通路を整備するとともに、駅周辺のJR及びJR貨物の敷地を利用した駅南口駅前広場など、南北の駅前広場を整備した。</p> <p>これにより、南北の地域から駅利用が可能になるとともに、駅前広場の整備により利便性が向上し、駅のアクセス機能や交通結節点機能の強化が図られた。</p>		
事業規模	事業延長(km)	自由通路 L=0.09km	
	幅員(m)	自由通路 W=4m	
	面積	駅北口駅前広場 A=4,700㎡ 駅南口駅前広場A=2,300㎡	
	事業期間(和暦)	平成26年～令和2年	
	事業費(億円)	約39億円	

事業位置図

(浜松市：天竜川駅橋上化事業)

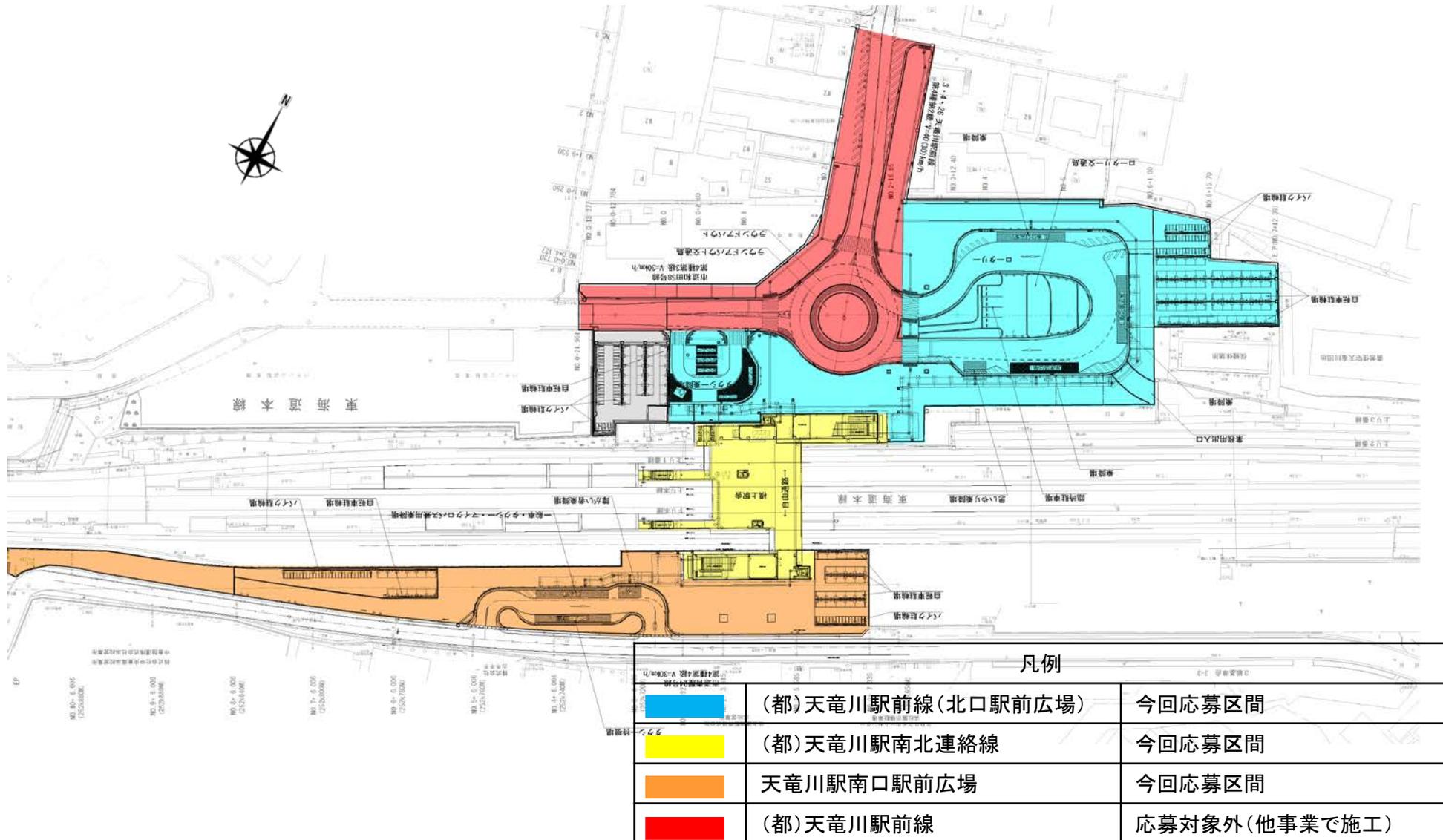


都市計画図(用途地域図)

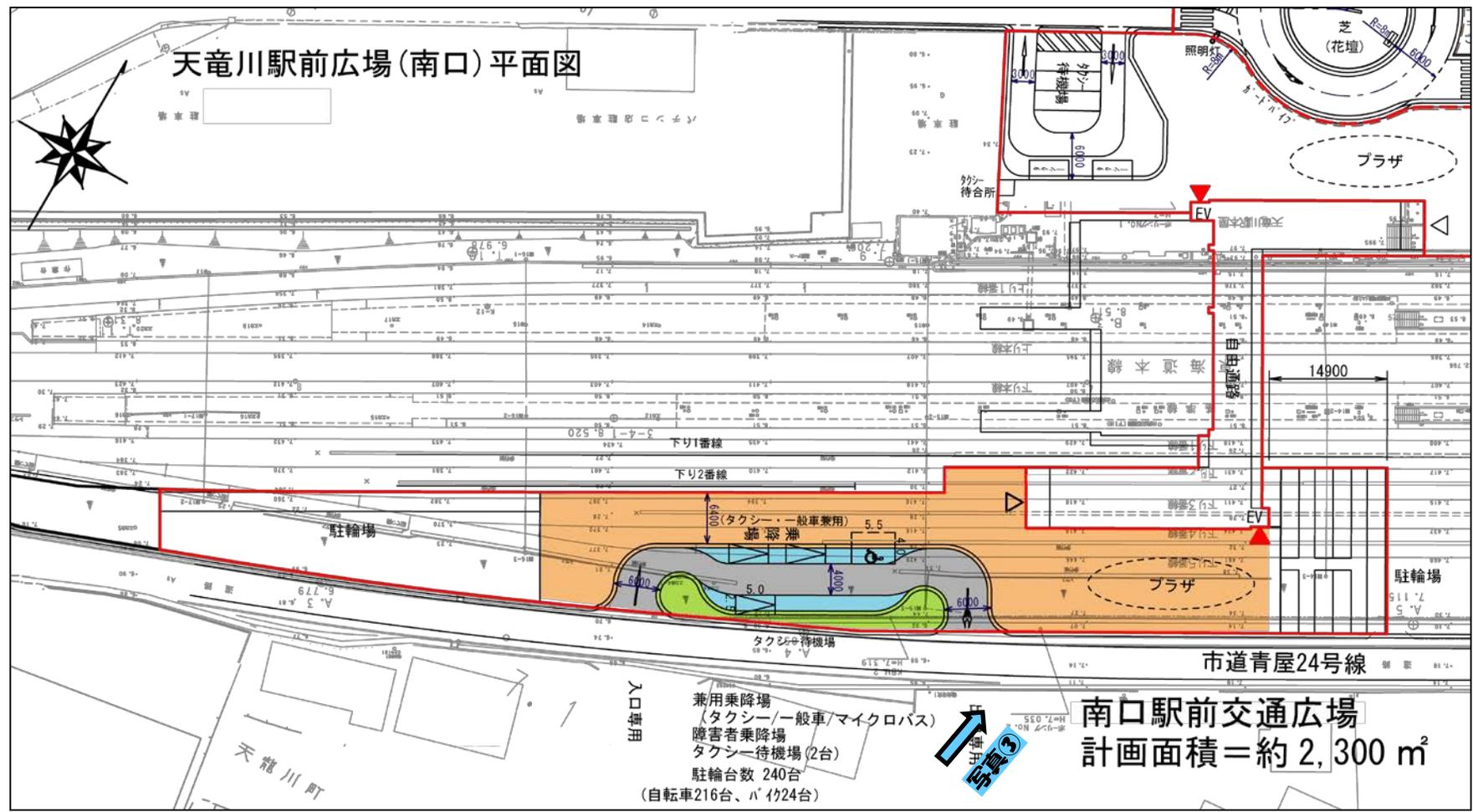


※第1・2種低層住居専用地域の高さの最高限度は、図中に表記がない限り、10mです。※市街化調整区域内の市街建物は、一部地区を除き、 となります。(建築基準法)

路線全体の進捗状況



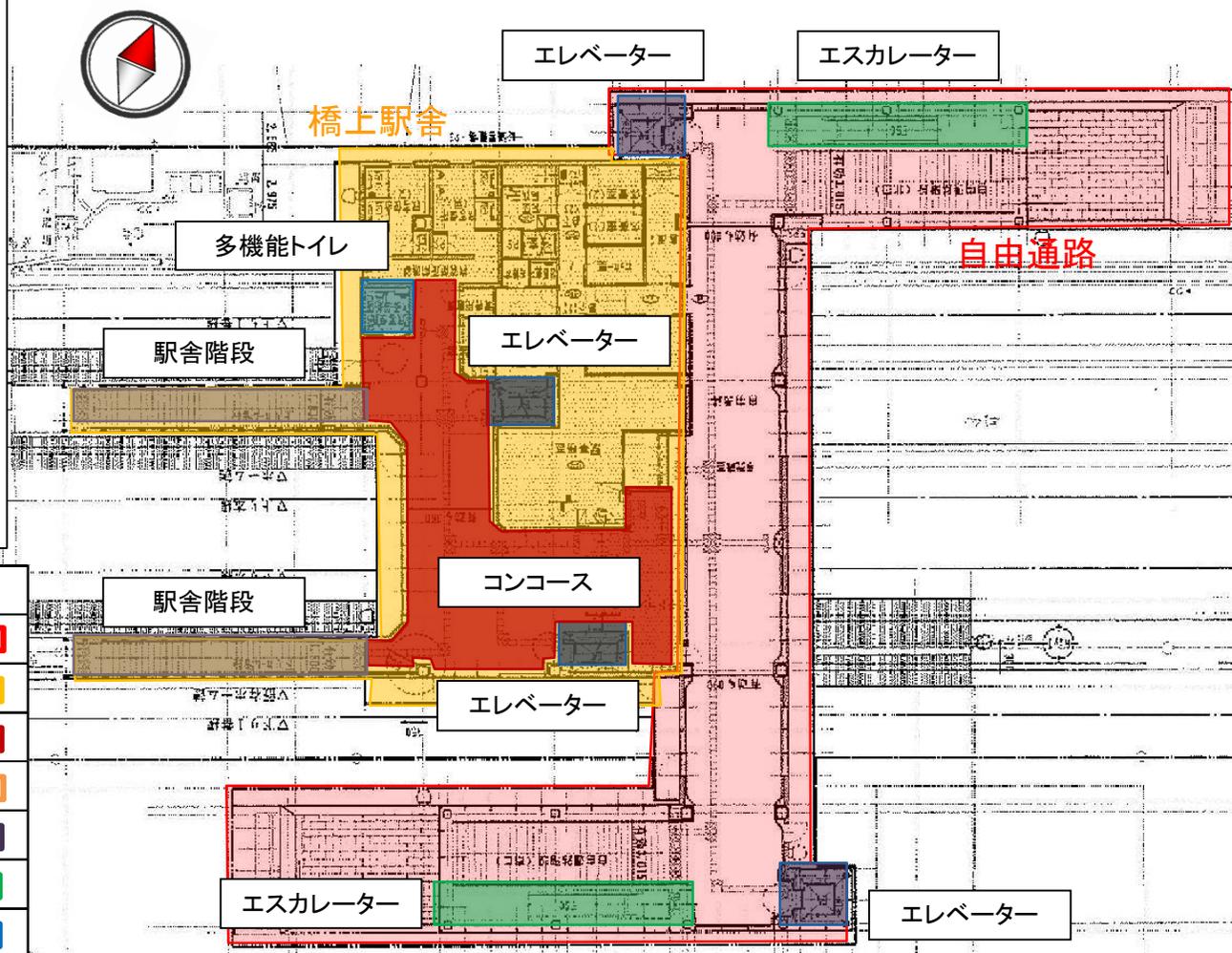
平面図 (駅南口)

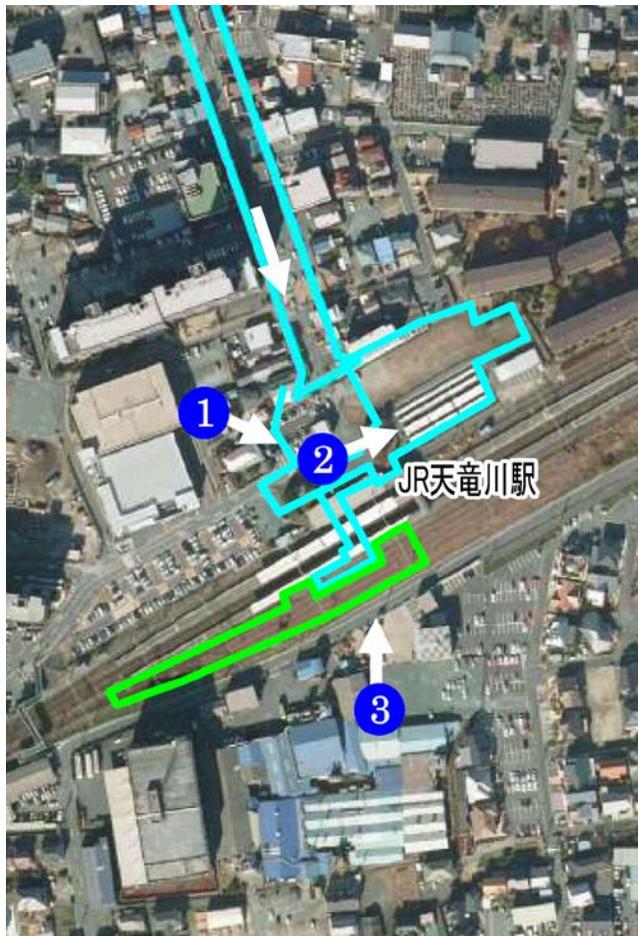


■施設概要

- 建物構造
鉄骨造2階建て
- 自由通路
延長 約90m、幅員 4m
- 駅舎面積
約500㎡
（コンコース、エレベーター、階段を含む）
- バリアフリー施設
エレベーター 4基
（自由通路、駅舎内 各2基）
エスカレーター 2基
（自由通路内）
多機能トイレ（駅舎内）

凡 例	
自由通路	
橋上駅舎	
コンコース	
駅舎階段	
エレベーター	
エスカレーター	
多機能トイレ	





事業前写真

写真①



H25年10月撮影

写真②



H25年10月撮影

写真③



H25年10月撮影

事業後写真

写真①



R2年9月撮影

写真②



R2年9月撮影

写真③



R2年9月撮影

事業後航空写真

橋上駅舎・自由通路

建物構造：鉄骨造2階建て
自由通路延長：約90m 自由通路幅員：4m
駅舎面積：約500㎡
バリアフリー施設：エレベーター4基、エスカレーター2基

駐輪場

橋上駅舎

ロータリー

タクシープール

駐輪場

南口駅前広場

駅前広場：約2,300㎡
駐輪場：自転車204台、原付42台

駐輪場

ロータリー

ラウンドアバウト

北口駅前広場

天竜川駅前線（北口駅前広場）
駅前広場：約4,700㎡
駐輪場：自転車：366台、原付39台

(都) 天竜川駅前線

※都市構造再編集中支援事業を活用

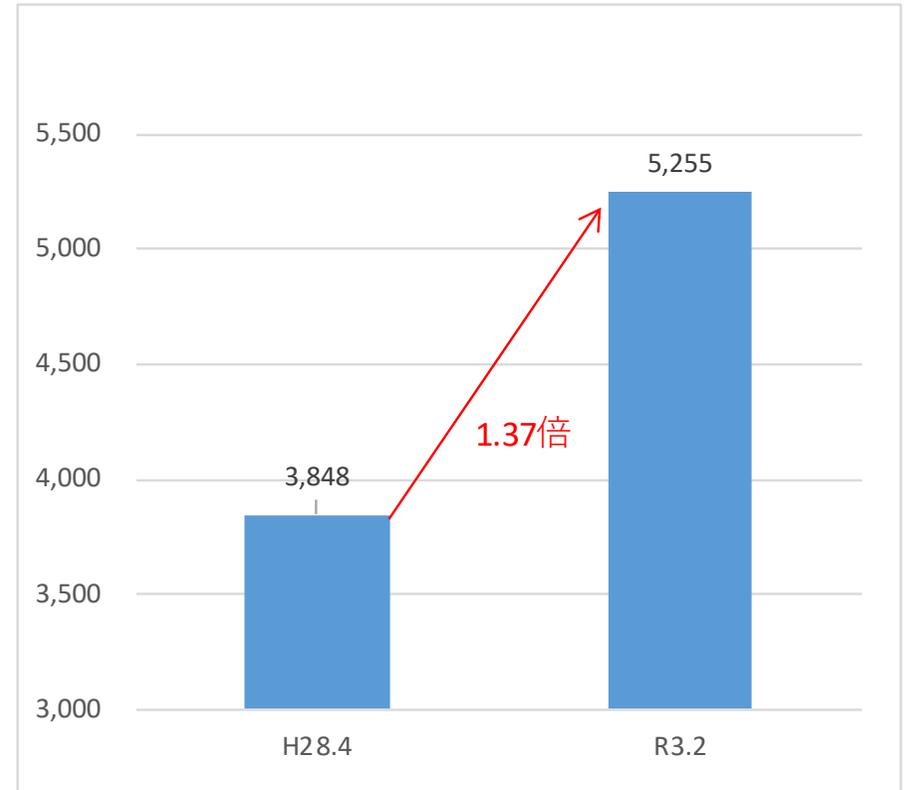
事業効果アピール資料①（利便性の向上）

- ・ 従前の駅は、改札が南口に整備されておらず、駅南地区の利用者は、跨線橋を渡るため大きく迂回する必要があった。
- ・ 南北自由通路の整備により、駅南口のアクセス性が向上した。
- ・ 目標値に対し、現況人口で5,255人が徒歩10分でアクセス可能になった。

○徒歩10分圏図

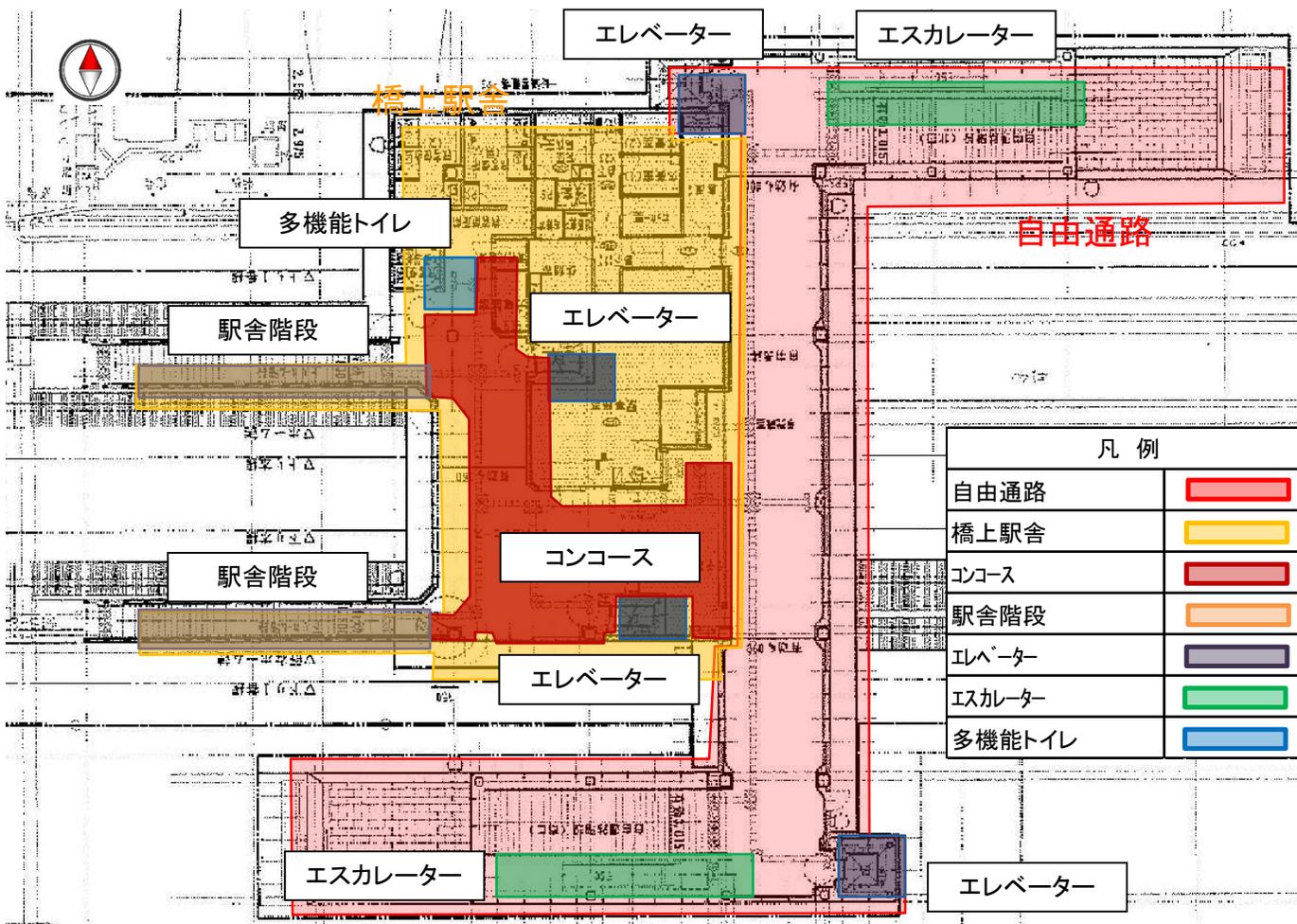


○徒歩10分圏人口の推移



事業効果アピール資料②（施設のバリアフリー化）

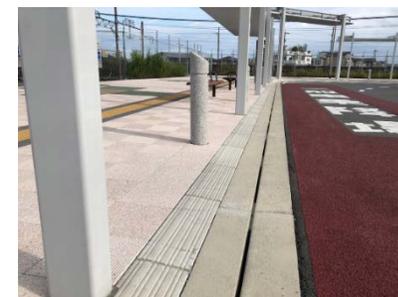
- 自由通路のエレベーター整備及び南北の駅前広場整備にUDブロックを使用するなど、駅のバリアフリー化を実施した。



エレベーター



音声案内

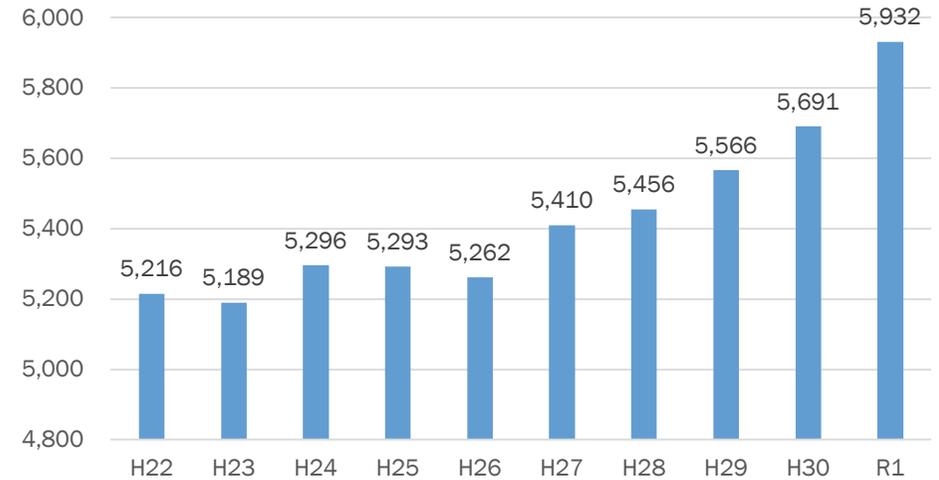


UDブロック

事業効果アピール資料③(駅利用者の増加)

- ・橋上化事業及び南北駅前広場の整備により、駅利用者が増加

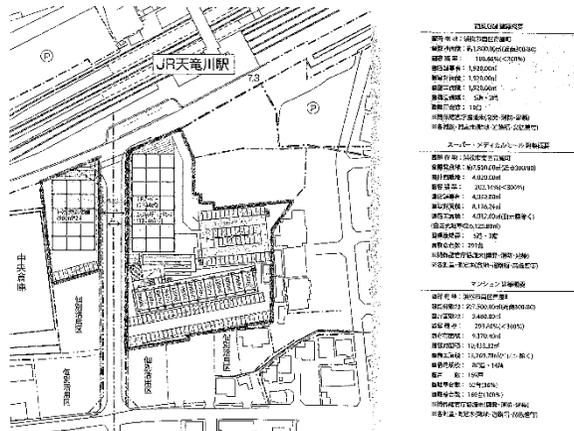
乗降客数(人/日)



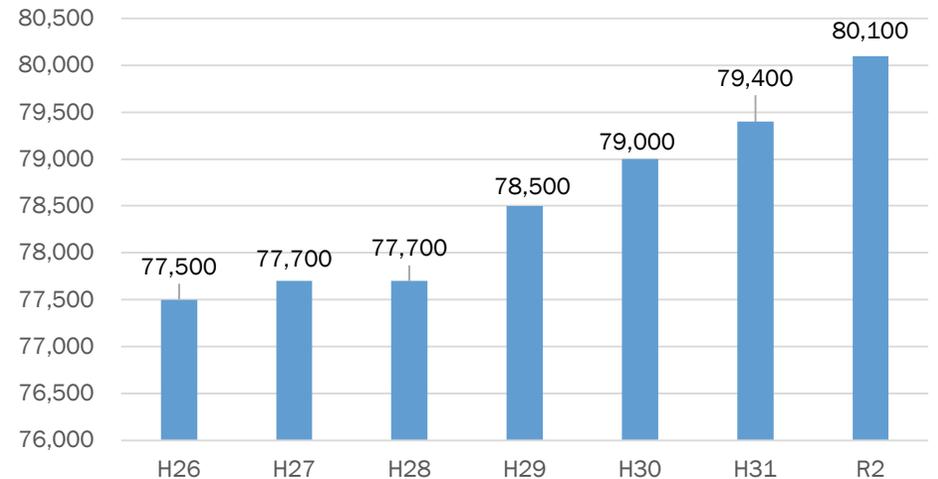
事業効果アピール資料④(土地利用の誘導・地価の向上)

- ・駅周辺の拠点機能の強化に伴い、駅南口の優良な民間開発が具体化

駅南口の開発計画



地価の変動(天龍川町住宅地)



受賞歴・報道資料



橋上駅化したJR天竜川駅のイメージ図(浜松市提供)

浜松市とJR東海は、市東区のJR東海道月24日に供用開始する。29日、2014年度か一線天竜川駅の南北自由通路と発表した。これにより、市内で計画されていた東海道線駅の橋上駅化は全て完了する。同駅はこれまで、北側にしか出入り口がなく、南側からは踏切や歩道橋で迂回(うかい)しなければならなかった。バリアフリー施設も未整備で、地域住民から長年、改善が求められていた。新たな駅には南口が設けられる。市によると、駅南方面からのアクセスは五分程度短縮

天竜川駅自由通路と橋上駅舎
来月24日に供用開始
浜松市東区
JR東海

できるという。駅舎には車いす対応エレベーター2基と多機能トイレ、自由通路には同エレベーターとエスカレーターを2基ずつ設置する。事業費は約27億4千万円。市は18年度末までに仮駅舎の撤去と線路、電線類の工事を行うほか、駅の南北にそれぞれ駐輪場やロータリーなどを備えた駅前広場を整備する。(浜松総局・豊竹喬)

JR天竜川駅

自由通路来月24日開通

南側から入場可能に



前日の二十三日には、関係者が出席して現地で行われた完成記念式典がある。現在、駅北側にある仮駅舎は、自由通路と橋上駅舎の供用開始後に順次取り壊される予定。月未までに計七百六十台分の駐輪場や、自動車の送迎レーンなどを設置する計画。

浜松市東区のJR天竜川駅の南北自由通路と橋上駅舎が、九月二十四日の始発から利用できるようになる。これまで駅北側からしか入場できなかったが、南側からも入れようになる。(古橋山祥臣) 自由通路は延長約九切を渡る必要があった。三分の一ほどの利用十の鉄骨一階建て。た、自由通路の開通に客が、新しい南口を通市道路企画課によるより、五分ほど時間短縮するようにすると見込んで、これまで駅南側の縮されるという。一日、住民が駅を利用する場平均で五千強の乗降。駅前と自由通路を結合、近くの歩道橋や踏客があり、開通後はこぶエレベーターと、改札内とホームを結ぶエレベーターが計四基設置される。整備事業は、市が一〇一四年度から約二十七億四千万円をかけて進めてきた。今後は北口と南口の駅前広場の整備を進め、一九年三月末までに計七百六十台分の駐輪場や、自動車の送迎レーンなどを設置する計画。



JR天竜川駅北口 あす、工事完了

環状交差点 供用へ 事故防止、利便性向上も

浜松市は29日、地域の交通結節点としての機能強化などを目的に進めてきた同市東区のJR東海道線天竜

川駅北口のリニューアル工事が、10月1日の環状交差点部分の供用で完了すると発表した。

市道路企画課によると、環状交差点は駅舎出入口口前に位置する。既に供用済みの北口駅前広場や西側駐輪場と合わせ、一体的に利用できるようになるという。全体の事業期間は2014～20年度の7年間。事業費は約9億4千万円。

リニューアル完了に伴い、送迎車両などが駅前ロータリーに出入りしやすくなる。環状交差点導入による交通事故抑止、歩道の段差解消による利便性向上も期待できるという。

10月1日の供用開始に向け、最終盤の整備が進むJR天竜川駅北口＝浜松市東区（市提供）

R2.8静岡新聞